



空気が入らないようにするには、どうしたらよいか。考えながら協力して羊腸に肉を詰めました

田尻小学校では毎年、5年生が「ソーセージ作り」を行っています。今、年も1月、田尻ハムから2人の方が来てくれて、ソーセージの作り方を教えてくださいました。初めて材料を混ぜ、次に羊腸をスタッファという器具にセットし、腸に肉を詰めます。終わったら同じ長さになるようにひねっていきます。それを75度から80度くらいのお湯で約15分ゆでたのできあがりです。難しいのは空気を入れずに肉を詰めること。空気が入らないように、羊腸を押さえる人と肉を詰める人に分かれて協力しました。それがとても長くなったときには「丸く巻くとよい」と教えていただきました。自分たちで作ったソーセージは、とてもおいしかったです。田尻ハムの



編集委員 遠藤凜乃、坂本真咲、佐藤菜那、千葉陸人(いずれも6年) 指導教諭 三瓶真実子

特産品を守る

手作りのソーセージ最高

田尻小

学校名 大崎市立田尻小学校
所在地 大崎市田尻通木一所谷10の3
電話 0229(39)0048
校長 一條 美奈
児童 121人



自慢のあいさつ

「おはようございます!」。毎朝元気なあいさつが聞こえます。田尻小の自慢はあいさつ。毎月1日と15日にあいさつ運動を行っています。その日は1、2年生は黄色いぼうしをかぶって、3年から6年生は黄色いネッカチーフをつけることで、安全にも気を付けて登校します。これからも明るく元気なあいさつを続けていきたいです。



おことわり 次週の「いいね小学校」は休みます。

柳津小

学校名 登米市立柳津小学校
所在地 登米市津山町柳津本町57
電話 0225(68)2009
校長 齋藤 進
児童 73人



成長願い愛の石

学校の昇降口前に「愛の石」と呼ばれる大きな石があります。1980年の校舎落成時、地域の方々が子どもたちの健やかな成長を願って設置したそうです。今は柳津小のシンボルのような存在になっていて、遊んで疲れたときは周りにすわって休んだり、おしゃべりをしたりしています。これからも私たちに温かく見守ってほしいです。



例年春祭りには、笛や太鼓を演奏しながら地区を練り歩きます

私たちは柳津の伝統である「つやま打ち囃子」を、地区の春祭りや登米市音楽文化祭などで演奏しています。打ち囃子は一度途絶えてしまったそうですが、1978年に地域の方々の要望で復活しました。その後、子どもが少なくなってきたことから、柳津小学校の5、6年生全員で取り組むことになったそうです。練習は4年生の3学期に始まります。大太鼓と小太鼓、しの笛のパートに分かれ、「つやま創作太鼓」の指導者の方や、5、6年生に教わりながら練習をします。最初は笛の音が出ず、太鼓もリズムよく打てませんでした。何度も練習し、少しずつ息の合った演奏ができるようになってきました。1月には6年生から



編集委員 佐々木葵、関野遙、佐藤愛美、佐々木鈴士、佐藤陽哉(いずれも6年) 指導教諭 鈴木操、佐藤美香(現登米小)

4、5年生への引き継ぎ会をしました。6年生の代表からは「練習を重ねることで上達できました。みなさんも練習し、伝統を引き継いでください」という話がありました。復活した「つやま打ち囃子」を、大切に引き継ぎたいと思います。

伝統つなぐ

練習重ねて打ち囃子上達